

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市堺区田出井町西計画	階数	地上15階
建設地	堺市堺区田出井町698番60、698番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	475 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2020年3月23日
敷地面積	3,363 m ²	作成者	IAO竹田設計 小田
建築面積	1,088 m ²	確認日	2020年3月30日
延床面積	10,782 m ²	確認者	IAO竹田設計 矢川



ださい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
計画地はJR阪和線「堺駅」の駅前商業地域と住宅街との境に立地し、利便性の良い地域である。建物南側には提供公園と一体となった広場を設けて前面道路から距離をとり、アースカラーを基調とした街並みと調和する外観とすることにより景観に配慮し、また機能的に快適な居住環境を形成する。		建設工事における廃棄物削減・リサイクルに取り組む。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
集合住宅という用途から騒音等に配慮し、自然採光・自然換気・自然排煙を基軸としながら機械設備を用いた環境整備を行う。また、気密性・断熱性についても過不足なく計画することで快適な居住空間とする。	長期的に快適な利用が可能となるように、意匠・構造・設備が一体となり、建物全体の機能や耐久性、将来性、長期的な変化への対応を追求している。	立地特性を把握し、より快適な生活空間となるよう、植栽計画を行い環境の向上及び景観への配慮に努め、また、地域を含めた防犯性・安全性の確保に努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
潜熱回収型給湯器の採用などにより環境負荷低減を試みている。	シックハウス等の健康被害を回避するために有害物質を含まない資材を採用したり長期的に安全、安心な暮らしの実現に努めている。	都心に建つ集合住宅であることを活かし、自転車による代替え交通手段の積極的利用を推進するため、駐輪場スペースの充実を図った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市堺区田出井町西計画 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区田出井町698番60、698番78、698番107、698番182	1.2	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 10,782.32 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	●●●●●
みどり・ヒートアイランド対策	2	●●●●●
エネルギー削減	4	●●●●●
建物の断熱性	4	●●●●●
安全快適な暮らし	3	●●●●●
自然エネルギー利用	○	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.6	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	2.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.8	4
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	4.0	4
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	○

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	